

東日本ユニオン よこはま

JR東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 小清水 和彦

「組合員意見交換会」開催

職場で発生している諸問題や働く組合員の悩みを仲間で共有し、交流を深めることを目的に、各業種別に「組合員意見交換会」を開催しました。

6月7日、車両センターで働く「組合員意見交換会」を開催し、参加した組合員からは各職場で要員が足りていない問題や会社提案である駅派出検査体制等の見直しについて、疑問や不安の声が寄せられました。

また働きやすい職場環境を目指し、休憩前の着替え時間や徒歩時分を確保するなど、職場の組合員が声を上げることによって改善された取り組みの報告も出されました。

6月21日には、駅職場で働く「組合員意見交換会」を開催しました。

意見交換会では、駅業務執行体制の再構築が実施されたが、行列が絶えないみどりの窓口・お客さまのニーズにそぐわない券売機類についての意見が出され、労働環境では老朽化した休養室等の不満の声が上げられました。



また、みどりの窓口の削減方針の凍結等、会社からの社員説明の前にニュースで会社施策を知る事が多く、会社として今後どうしていくのか現場では説明がないことに危機感を持つ組合員が多くいました。

各意見交換会ともに、安全問題として4月26日生見尾踏切で発生した人身事故の際、一步間違えば触車死亡事故という事象について、自分の命・仲間の命を守る為に何をすべきか議論し、より安全な行動していこうと意志統一をしました。

**安全で働きやすい職場を目指して、
職場の問題解決に向け取り組んでいきます。**